

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社SHS花みずき
代表者	関根 純一
事業所名	小規模多機能型居宅介護・みずき
管理者	今野 純子
実施日	平成 29 年 3 月 7 日
作成日	平成 29 年 3 月 8 日

法人・事業所 の特徴	介護理念実践化の追及。「思いを受け止め、笑顔で・支え・居心地の良い居場所をつくる。 あきらめない介護をめざす」
---------------	--

出席者	苫小牧市職員	地域包括支援 センター職員	町内会役員	民生委員	利用者家族	その他	事業所職員	合計
	1 人	人	人	2 人	1 人	人	2 人	6 人

【評価項目の達成度について】

- A : 十分にできている (76% ~ 100%)
- B : 大体できている (51% ~ 75%)
- C : あまりできていない (26% ~ 50%)
- D : ほとんどできていない (0% ~ 25%)

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
初期支援	1	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	A	【 前 回 の 改 善 計 画 】 介護計画書の充実、スタッフ間の実践課題の共有を図る気づきのノート作成等を図り、一人一人の課題が目標に沿ったものかを確認、共有の方法を探ること。
	2	利用者の情報やニーズについて、サービス開始時にミーティング等を通じて把握しているか。	B	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 フエースシートの充実・気づきノートの記載、全体会議および朝の申し送りでの情報を共有することで新規利用時にスタッフが利用者への確かな対応ができるよう心掛けている。利用者本人およびご家族の意向はスタッフ全員に必ず周知し、短期目標の達成を心がけた対応が出来るようになってきている。
	3	利用者の情報やニーズについて、サービス開始時にミーティング等を通じて把握しているか。	B	A	【 意 見 等 】 気づきノートの活用は良いと思います。引継ぎノートとは違うんですね。
	4	利用者がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができているか。	B	B	
	5	利用者を支えるため、家族や介護者との円滑な関係作りができているか。	B	A	【 今 回 の 改 善 計 画 】 定期的な自宅訪問や面会時・送迎の際の情報提供やご家族からの情報収集を行ってはいるが自宅での生活の把握が不十分である。ご家族との信頼関係をより一層築けるよう、今後は更に送迎時や自宅訪問の際に職員より積極的に声掛けし良好な関係を築ける様努力していく。

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
目標の把握	6	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	A	【 前 回 の 改 善 計 画 】 問題把握の共有化を図る推進者の意識高揚と、目標（ケアプラン）を個々が確認しながら実践する事。
	7	利用者の長期目標を把握しているか。	B	B	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 カンファレンスでサービス計画書の課題と長短期目標をスタッフ全員で確認するようにしている。また、ミーティングで日々の様子について情報を共有し、短期目標の達成を意識して関わるようになっている。
	8	利用者の短期目標を把握しているか。	B	A	【 意 見 等 】 目標を達成するのはなかなか難しいと思うが常に意識してケアしている事が理解できた。
	9	短期目標の達成を意識して、日々の関わりができていますか。	B	B	
	10	日々の様子をミーティング等で共有し、次の目標に活かしているか。	B	B	【 今 回 の 改 善 計 画 】 常にケアプランを確認しながら日々の関わりが出来るよう、目標が達成できるようミーティング等で情報を共有しながら職員一人一人の意識を高めていく。

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
生活の支援	11	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	【前回の改善計画】 フェースシート、ケアプラン等の充実と確認の実施及び利用方法の具体化を進め、実効性のあるものにする事。
	12	自宅での生活環境を理解するため、普段の暮らし方（生活スタイル・人間関係等）を把握しているか。	B	B	【改善計画の取り組み結果】 定期的なフェースシートの見直しとサービス内容の確認をすることで現状に合ったサービス内容の変更等ができるようになった。
	13	利用者の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の基礎的な介護ができていますか。	A	A	
	14	利用者の気持ちや体調の変化について、ミーティング等で共有できているか。	B	A	【意見等】 利用者のお世話に本当に頭が下がります。ありがとうございます。 自宅での生活状況など個人のプライバシーに関する事なので聞くのはなかなか難しいと思う。利用者や家族側で関わりを拒否するケースがあり、担当の民生委員を利用者全員分把握するのは難しく、花みずきに限ってではなく町内会などでも大きな課題になっている。
	15	利用者の気持ちや体調の変化について、即座に対応できているか。	B	A	
	16	利用者の暮らしに必要な存在（民生委員や地域の資源等）を把握しているか。	C	B	【今回の改善計画】 民生委員や地域資源の活用を把握し、地域との連携を図るようご家族等に情報提供し働きかけていく。利用者の気持ちや体調の変化「いつもとは違う」事に速やかに気づき対応できるよう職員間の情報の共有化を図る。
	17	家族や介護者、地域との関係が切れないうち支援できているか。	B	B	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
多 様 性 の あ る 支 援	18	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>小規模多機能居宅介護特有の「地域密着」「小規模」「多機能」「柔軟な介護」の意味と介護の在り様を随時確認しながら実践する事の大切さを学習・研修する仕組みを作る事。</p>
	19	事業所内での支援に限らず、町内会行事等の地域を活用した支援が行えているか。	B	B	<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>小規模多機能居宅介護のサービスを組み合わせ、在宅生活を継続できるよう必要に応じてサービスを提供しており、訪問介護利用者が増えてきている。</p>
	20	ニーズに応じた「通い」「訪問」「宿泊」を適切に提供できているか。	A	A	<p>【 意 見 等 】</p> <p>長期間のショートステイの利用はとても助かっています。 多様な</p> <p>【 今 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>ご本人・ご家族の要望を確認し、利用者一人一人に合った地域を活用したサービスを提案していく。</p>

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
事業所の様子	21	前回の改善計画について取り組んでいたか。	C	A	【 前 回 の 改 善 計 画 】 目先の事に追われがちになり、地域性・地域行事・地域資源の活用等に関心を向ける姿勢が薄くなりがちになることを戒め、「地域資源の活用についての関心」を常に持つ進め方を工夫する事。
	22	事業所内や周囲の環境は、清潔な状態が保たれているか。	A	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 「地域に愛される施設」を常に念頭に置き全体会議や日々のミーティング等で話し合うことで職員の意識に変化が見られ、接遇の改善につながっている。
	23	事業所内は居心地のよい空間になっているか。	B	B	【 意 見 等 】 明るくてとても雰囲気が良いと思っています。 職員が忙しいので利用者が暇そうだなと思う事があります。 いつ来ても活気のある施設だと感じています。建物もまだ新しくいつも掃除が行き届いて臭いも気にならないし清潔感があると思います。
	24	利用者の家族や地域住民等が、事業所を訪れているか。	B	A	【 今 回 の 改 善 計 画 】 利用者の身体状況に合わせてフロア内を移動する機会を作るなど活動性を維持できるよう工夫する。利用者が長時間過ごす「居心地の良い空間とは何か」を再確認すると同時により良い環境を提供できるよう心掛ける。
	25	訪問してきた方への挨拶やコミュニケーションができているか。	B	A	

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
事業所の運営	26	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	A	<p>【 前 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>スタッフの取り組みの姿勢に温度差がある事の是正及び職場のより良い環境づくりの工夫の為の話し合い・気付き提案を積極的に進めることが出来る雰囲気づくり。</p>
					<p>【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】</p> <p>職員間でその都度話し合い、問題解決に取り組むよう心掛けている。</p>
	27	職員として意見を言いやすい環境が整っているか。	B	B	<p>【 意 見 等 】</p> <p>職員間で話し合える環境作りが重要である。 意見や要望・苦情等は比較的言いやすい雰囲気づくりはできていると思われる。</p>
	28	利用者や家族、地域住民等から意見や苦情があった場合、運営に反映されているか。又は、運営に反映する環境が整っているか。	B	A	<p>【 今 回 の 改 善 計 画 】</p> <p>様々な方々からのご意見や要望に対しては全員で情報を共有し速やかに対応する様心掛ける。</p>

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
連携・協働	29	前回の改善計画について取り組んでいたか。	B	B	【 前 回 の 改 善 計 画 】 ネットワークづくりの必要性の学習や参加のための時間作り等の工夫や調整を進める側が作ること。（防災の連携・地域行事参加・地域資源の活用・組織作り等への参加協力等々）
	30	運営推進会議を年6回以上開催しているか。	A	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 地域ケア会議・地域での研修等に参加し、地域の現状把握や地域の方と交流し情報の収集に努めている。
	31	運営推進会議では、事業所の取組に関する説明、事例検討、地域との連携等について、わかりやすく行っているか。	B	A	【 意 見 等 】 運営推進会議での情報交換が活発に行われている。 運営推進会議では意見を言いやすい雰囲気づくりがなされている。 各関係機関との会議等は時間の調整が難しいと思われる。 福祉用具の事業所との関係が良好と思われます。
	32	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っているか。	B	A	【 今 回 の 改 善 計 画 】 参加可能な地域の活動には今後も積極的に参加し、地域との関係性を維持向上できるよう調整する。
	33	地域の各団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加しているか。	C	B	



設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
災害対策	34	前回の改善計画について取り組んでいたか。	C	B	【 前 回 の 改 善 計 画 】 職場防災訓練は年2回実施されているが、地域との協力なくしては、達成されない事から事業所・地域・包括等のネットワークづくりに積極的に係る事。
	35	年に2回以上、事業所内での防災訓練等を行っているか。	B	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 職場内でも災害時の地域との連携は議論されており、意識は高まってきているがどのようにするのかは具体的には決まっていない。
	36	事業所の避難マニュアル等を把握しているか。	C	B	【 意 見 等 】 具体的なことを考えて欲しい。 地域の防災訓練が実施されていない為その点ではやむを得ない。 地域で想定される各種災害について今後検討が必要となるので訓練でも取り込めるよう努めてほしい。
	37	災害時における近隣の避難場所等を把握しているか。	B	B	【 今 回 の 改 善 計 画 】 職場防災訓練は年2回実施しているが、地域との協力なくしては、達成されない事から事業所・地域・包括等のネットワークづくりに積極的に係って行きたい。また、災害時に職員が「出来る事は何か」「何が出来るか」を常に意識するよう職員間で議論する機会を作る。
	38	事業所として地域の防災訓練に参加しているか。	D	C	

設問			評価		詳細
			事業所	地域	
質 の 向 上	39	前回の改善計画について取り組んでいたか。	A	A	【 前 回 の 改 善 計 画 】 リスクマネジメントに取り組んではいるものの絶えず問題を抱えながらの取り組みである。 職員の意識と実践力の向上を図る恒常的な取り組みを進める事。 (自己実践に責任を持つ取組・安全確保への細心な注意力・「行動・実践理念」の深い理解力等)
	40	研修（職場内、職場外）を実施、又は参加しているか。	B	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 会議等で話し合うことで職員の意識に変化が表れてきている。また契約時に「サービス利用時リスク説明書」をご家族に説明し理解して頂くよう対応している。
	41	キャリアアップに向けた資格取得や研修参加等が行えているか。	B	B	【 意 見 等 】 忙しくてキャリアアップが難しいと思います。 簡単なことではないが、職場全体の質の向上につながることであり前向きに取り組んでほしい。
	42	リスクマネジメントに取り組んでいるか。	B	B	【 今 回 の 改 善 計 画 】 職員一人一人のスキルを高め、研修に参加しやすいよう職場内の環境づくりを行う。

設問		評価		詳細	
		事業所	地域		
人格の尊重	43	前回の改善計画について取り組んでいたか。	A	A	【 前 回 の 改 善 計 画 】 職員の何げない言葉使い・配慮の足りない行動が人格に触る事が問題を醸し出すことから、介護者自身の人格と細心の気づきに注意力を向ける心がけを持つこと。
	44	身体拘束を行っていない。	A	A	【 改 善 計 画 の 取 り 組 み 結 果 】 気が付いた際には速やかに職員間で話し合い、お互い注意し合うことで徐々に意識に変化はみられるもまだ対応は充分とは言えない。
	45	虐待を行っていない。	A	A	【 意 見 等 】 言葉の暴力に関しては相手の受け取り方にもよるのでよほど注意しないと誤解を招く場合がある。
	46	個人情報を適正に管理している。	A	A	【 今 回 の 改 善 計 画 】 職員一人一人が気持ちの余裕を持って利用者に接することが出来るよう、勤務体制の見直しも含めて介護者としての自覚を再認識する様心掛ける。